

出典 立川武蔵「空の思想史」（講談社 2003年）

インド仏教で生まれた「空の思想」に焦点を当て、仏教が中国や日本に伝播していく中で空の思想がどのように変わっていったかを論じた本です。論旨は明快ですが、内容的にとっつきにくいかもしれません。

問1【漢字の書き取り・漢字の読みの問題】（解答番号は **1** ～ **7**）

a 整合的、**b** じゅんしゅ、**c** 原籍、**d** 逸脱、**e** 功德、**f** 行状、**g** 詳細がそれぞれ正答です。全問正答者はいませんでした。「詳細」以外は全般に不出来であり、**b** では「そんしゅ」、**c** では「原石」といった誤答が散見されました。

問2【空欄補充・前後の文脈から適切なものを選ぶ】（解答番号は **8** ・ **9**）

空欄 **I** は説明のための方法の話であることが、空欄 **II** の直後の言葉がヒントになります。**I** の正答は⑨で、正答率は98%、**II** の正答は⑤で、正答率は70%でした。

問3【空欄補充・前後の文脈から適切なものを選ぶ】（解答番号は **10**）

空欄 **ア** を含む段落にある「個々の人間」、「個人的な精神的救済」という言葉から正答⑦が導けます。正答率は51%でした。

問4【言葉の意味に関する知識を問う問題】（解答番号は **11**）

正答は④です。「不見識」とは社会通念に対する認識を欠き、十分な思慮を欠いた言動をする様子を意味します。正答率は26%でした。

問5【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **12**）

傍線部 **B** の次の文に理由が書かれていますから正答が⑤であると容易に導けます。正答率は32%でした。

問6【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **13**）

傍線部 **C** に続く3つの文をよく読みさえすれば正答は②だと簡単にわかります。正答率は85%でした。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **14**）

傍線部 **D** の周辺だけを読むのではなく本文全体を丹念に読み仏教、キリスト教、ヒンドゥー教、イスラム教に関する記述を的確に押さえれば正答が⑥であるとわかるはずですが。正答率は55%でした。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **15**）

傍線部 **E** の段落とその次の段落をよく読めば、3頁の3～6行の記述が正答を導く最大の鍵だとわかります。正答は①で、正答率は49%でした。

問9【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **16**）

傍線部 **F** の記述は直前の文の言い換えであることをつかめさえすれば正答は④だとわかるでしょう。正答率は77%でした。

問10【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は17）

傍線部Gの前後の内容とりわけ4頁の1～2行目の記述がヒントになります。正答は③で、正答率は51%でした。

問11【内容を理解して小見出しを選択する問題】（解答番号は18）

正答は⑦で、正答率は40%でした。筆者は第1段落で宗教の激突が起きていると問題提起をしたうえで、論を展開していることを押さえれば正答するのは難しくありません。

問12【内容を理解して小見出しを選択する問題】（解答番号は19）

「存在する」、「存在しない」という言葉がこの節に頻出していることは容易に気づけます。「空思想にあっては原則的に神あるいは絶対者は存在しない」という言葉が正答を導く最大のヒントです。約半数の答案が⑧を選択していましたが、「この否定の後に続く肯定が空思想の求めるものであり」と本文に明記されており、空の思想が否定を求めているということではありません。正答は⑦で、正答率は9%でした。

問13【内容合致問題】（解答番号は20・21）

正答は②と⑤で、完全正答率は4%でした。②は第4段落と最終段落に、⑤は後ろから3つめの段落に書かれている内容です。④あるいは⑧を選択した受験生がそれぞれ全体の38%いましたが、④は「地球規模の均質な市場を通じて」が、⑧は「律法主義者たちの精神的救済」がともに本文の内容に合致しません。



出典 小平麻衣子「女が女を演じる」（新曜社 2008年）

明治時代の女性と消費の結びつき、特に女性が消費の主体となりゆく経緯を論じた文章です。「変化」「転換点」という表現や〈色の調和〉という鍵語を手がかりとして、論の展開を把握することができます。

問1【漢字の書き取り・漢字の読みの問題】（解答番号は22～28）

a 雑然、b 翻弄、c 執着、d 一掃、e 狭義、f 頻繁、g 陳腐がそれぞれ正答です。全問正答者はいませんでした。e「競技」とする同音異義語による誤答が多く見られました。前後の文脈からの確かな語句を判断するようにしましょう。

問2【空欄補充・前後の文脈から適切なものを選ぶ】（解答番号は29）

正答は⑨です。空欄Ⅰは直前「このような」が指す内容から「受動」が、空欄Ⅱ・Ⅲには直後の「女性一人一人が（略）足を運ばなければ」という内容から「主体」が、空欄Ⅳには直前の「それを買いたいと自分から望む」から「主体」が、空欄Ⅴには空欄Ⅲ直後の「自らの欲望に従って」から「欲望」がそれぞれ入ります。正答率は30%でした。

問3【空欄補充・前後の文脈から適切なものを選ぶ】（解答番号は30）

空欄 **ア** の直後「店員に身を委ねる」から正答⑦「己れの外部に委ねる」が導けます。正答率は57%でした。

問4 【空欄補充・前後の文脈から適切なものを選ぶ】（解答番号は **31**）

空欄 **イ** の前の文章（第12段落1～5文目）から正答④を導けます。正答率は55%でした。

問5 【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **32**）

傍線部 **A** の直前から正答③を導けます。正答率は60%でした。

問6 【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **33**）

傍線部 **B** の直後の1文から正答②を導けます。正答率は79%でした。

問7 【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **34**）

「女性と消費の結びつき」は第7・8段落で説明されています。第8段落後半から〈色の調和〉が女性と消費を結びつけたという正答③を導けます。②は「〈客の身になる〉サービス」の説明が誤り、④は「消費はだれにでも許されている」の「だれでも」が階級ではなく男性または女性を指すことから誤り、⑥は傍線部 **C** 直後「実体的な理由とは無関係」から誤りであることがわかります。正答率は13%でした。

問8 【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **35**）

傍線部 **D** の前「この点」が示す〈色の調和〉を手がかりとして本文を読むと、正答①が導けます。正答率は40%でした。

問9 【言葉の意味に関する知識を問う問題】（解答番号は **36**）

正答は⑤です。「十把ひとからげ」とは様々なものを区別せずにひとまとめにして扱うことを意味します。正答率は15%でした。

問10 【内容合致問題】（解答番号は **37**・**38**）

正答は②と⑧で、完全正答率は17%でした。②は第15段落に、⑧は第7・8・10段落に書かれている内容です。

問11 【内容理解による表題の選択問題】（解答番号は **39**）

女性と消費の結びつきを端的に示す⑥が正答で、正答率は45%でした。「ジェンダー」のような入試頻出用語に対しては、日頃から新聞を読むなどして知識を増やしておきましょう。